

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

指導単元・月	観点	単元の評価基準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
集団行動 体づくり運動 4・5・2月	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>	<b>【知識】</b> ・体を動かす楽しさや心地良さを味わう。 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。 <b>【技能】</b> ※体ほぐし運動 ・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付く。仲間と自主的に関わり合う。 ※実生活に生かす運動の計画 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画に取り組む。	<b>【知識】</b> ・実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であるということを理解している。 <b>【技能】</b> ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 ・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率の良い組み合わせやバランスの良い組み合わせで運動の計画を立てて取り組むことができる。	・定期テスト ・観察 ・カード	・効果的な視覚的教材の提示 ・効果的な学習カードの提示 ・生徒自らが気付ける発問の工夫
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span>	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	・体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見つけることができる。	・観察 ・カード	・話合いの補助発問の工夫
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>	・体づくり運動に自主的に取り組む。 ・互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。 ・話し合いに貢献しようとする。 ・健康・安全を確保する。	・体づくり運動の学習に自主的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題解決に向けた話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。	・観察 ・カード	・ICT 機器の活用 ・グループ作りの工夫
		<b>【知識】</b>	<b>【知識】</b>	・定期テスト	

陸上競技 4・5・10・12月	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短距離走では、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走る。</li> <li>・リレーでは、バトンの受け渡して次走者のスピードを十分高める。</li> <li>・長距離走では、自己に適したペースを維持して走る。</li> <li>・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く飛び越す。</li> <li>・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶ。</li> <li>・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることを理解している。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短距離走では後半でスピードが著しく低下しないよう、カミのないリズムカルな動きで走ることができる。</li> <li>・長距離走では自己の体力や技能に合ったペースを維持して走ることができる。</li> <li>・ハードル走ではインターバルを3又は5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カード</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・タイム計測</li> <li>・距離計測</li> <li>・映像チェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な視覚的教材の提示</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な学習カードの提示</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技に自主的に取り組む。</li> <li>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</li> <li>・自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自らが気付ける発問の工夫</li> <li>・話合いの補助発問の工夫</li> </ul>
水泳 6・7月	1	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。</li> <li>・平泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペース</li> </ul>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泳法と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることを理解している。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロールでは、水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・カード</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・タイム計測</li> <li>・距離計測</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用</li> <li>・グループ作りの工夫</li> </ul>

		<p>で長く泳いだり速く泳いだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。</li> <li>・バタフライでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。</li> <li>・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平泳ぎでは、プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸びを取り、1回のストロークで大きく進むことができる。</li> <li>・背泳ぎでは、一連のストロークで、肩をスムーズにローリングさせることができる。</li> <li>・バタフライでは、腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールを形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動きで進むことができる。</li> <li>・複数の泳法で泳ぐことができる。</li> </ul>		
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な視覚的教材の提示</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳に自主的に取り組む。</li> <li>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</li> <li>・自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳の学習に自主的に取り組んでいる。</li> <li>・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・水の事故防止の心得を守るなど、健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な学習カードの提示</li> <li>・生徒自らが気付ける発問の工夫</li> </ul>
<p>球技</p> <p>5・6・1・ 2・3月</p>	1	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防する。</li> <li>・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによ</li> </ul>	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスを出した後に次のパスを受ける動きができる。ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れることができる。</li> <li>・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さにボ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・カード</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・ゲーム映像チェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いの補助発問の工夫</li> <li>・ICT 機器の活用</li> <li>・グループ作りの工夫</li> </ul>

オリ・パラ教育		<p>って空いた場所をめぐる攻防をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。</li> </ul>	<p>ールを上げることができる。腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側コートに打ち込むことができる。</p>		
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>カード</li> </ul>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技に自主的に取り組む。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>作戦などについて話合いに貢献しようとする。</li> <li>1人1人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。</li> <li>健康・安全を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くことができる。</li> <li>球技の学習に自主的に取り組んでいる。</li> <li>互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>カード</li> </ul>	
器械運動 9・10月 オリ・パラ教育	1	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技ができる楽しさや喜びを味わう。</li> <li>技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方など理解する。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <p>※跳び箱運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行う。</li> <li>条件を変えた技や発展技を行う。それらを構成し演技する。</li> </ul>	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることを理解している。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回転系や巧技系の基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ったり、回転したり、静止したりできる。</li> <li>学習した基本的な技、条件を変えた技、発展技の中から、いくつかの技を組み合わせて行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>カード</li> <li>スキルテスト</li> <li>連続技映像</li> <li>チェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的教材の提示</li> <li>効果的な学習カードの提示</li> <li>生徒自らが気付ける発問の工夫</li> <li>話合いの補助発問の工夫</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 機器の活用</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動に自主的に取り組む。</li> <li>良い演技を讃えようとする。</li> <li>互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>1人1人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>健康・安全を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の状況にかかわらず、互いに讃え合おうとしている。</li> <li>1人1人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ作りの工夫</li> </ul>

体育理論 文化としての スポーツ 5・9月	1	・文化としてのスポーツの意義について理解する。	・文化としてのスポーツの意義について理解している。	・定期テスト ・カード	・効果的な 視覚的教材の提示  ・効果的な 学習カードの提示
	2	・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。	・自己の課題を見つけ、よりよい解決に向けて試し判断することができる。	・観察 ・カード	・生徒自らが気付ける 発問の工夫
	3	・文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組む。	・学習に自主的に取り組んでいる。	・観察 ・カード	・話合いの補助発問 の工夫
保健 5・6・10・11 1・2月	1	・健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 ・健康と環境について理解を深めること。	・学習に意欲的に取り組んでいる。 ・自分の生活を振り返ることができる。	・定期テスト ・カード	・ICT 機器の活用
	2	・健康な生活と疾病の予防、また健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。	・健康な生活と疾病の予防、また健康と環境における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。	・観察 ・カード	・グループ作りの工夫
	3	・健康な生活と疾病の予防、また健康と環境について資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・健康な生活と疾病の予防、また健康と環境について理解している。	・観察 ・カード	
		【知識】	【知識】	・定期テスト	・効果的な

武道（柔道）  11・12月  オリ・パラ教育	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技ができる楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることを理解している。</li> <li>・試合の行い方には、ごく簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることを理解している。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取は膝車をかけて投げ、受は受け身をとること。</li> <li>・取は、「抑え込みの条件」を満たして相手をけさ固めや横四方固めて抑えること。受は抑えられた状態から、相手を体側や頭方向へ返すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カード</li> <li>・スキルテスト</li> <li>・映像チェック</li> </ul>	視覚的教材の提示  <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な学習カードの提示</li> <li>・生徒自らが気付ける発問の工夫</li> <li>・話合いの補助発問の工夫</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器の活用</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動に積極的に取り組む。</li> <li>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする。</li> <li>・分担した役割を果たそうとする。</li> <li>・1人1人の違いに応じた課題や朝鮮を認めようとする。</li> <li>・禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。</li> <li>・用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>・禁じ技を用いないなど、健康・安全に気を付けている。</li> <li>・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ作りの工夫</li> </ul>